

風水害への備え

気象庁の天気予報等で用いている用語を知り、避難行動に役立てましょう。

雨の降り方と周囲の状況

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm~	
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	
周囲の状況	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれ、雨の音で話し声が良く聞き取れない。	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。車のワイパーを速くしても見づらい。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになり、高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。	

風の強さと吹き方

平均風速	10~15(m/s)	15~20(m/s)	20~30(m/s)	30~40(m/s)	40(m/s)~	
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風		
周囲の状況	風に向かって歩きにくくなり、傘がさせない。車の高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険で、屋根瓦・屋根葺材がはかれるものがある。	何かにつかまっていなくて立ってられず、飛来物によって負傷するおそれがある。細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。	走行中のトラックでは横転するリスクがある。屋外での行動は極めて危険で、外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	多くの樹木が倒れ、電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁及び住家で倒壊するものがあり、鉄骨構造物では変形するものがある。	

気象庁HP参照

大雨・洪水警報の発令基準

湖南町を除く郡山市

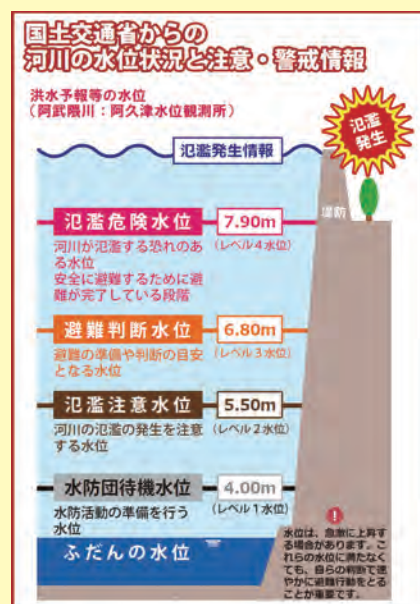
	雨量での基準	その他の基準
大雨警報	平地: 3時間80mm以上 山地: 1時間60mm以上	土壌雨量指数による※1
洪水警報	平地: 3時間80mm以上 山地: 1時間60mm以上	流域雨量指数による※2

湖南町

	雨量での基準	その他の基準
大雨警報	3時間100mm以上	土壌雨量指数による※1
洪水警報	3時間100mm以上	流域雨量指数による※2

※1 土壌雨量指数: 土壌中に溜まった水水量を表す指数

※2 流域雨量指数: 河川流域に降った雨が下流の地域に与える影響を表す指数



記録的短時間大雨情報

数年に一度しかないような激しい雨が予測されたときに発表。この情報が発表されたときは、その大雨が災害の発生に繋がる事態を意味しています。

竜巻注意情報

竜巻や突風が発生するおそれがあるときに発表される気象情報。この情報が発表されたときは、竜巻や激しい突風に注意が必要です。